

認知症の人とともに築く地域 ～藤枝市のチームオレンジについて～



いくつになっても笑顔で藤枝
～ みんなで支える地域の笑顔 ～

静岡県 藤枝市 健康福祉部 地域包括ケア推進課

藤枝市の概況

主要路線による交通の要衝

富士山静岡空港まで25分

面積: 194.03km²

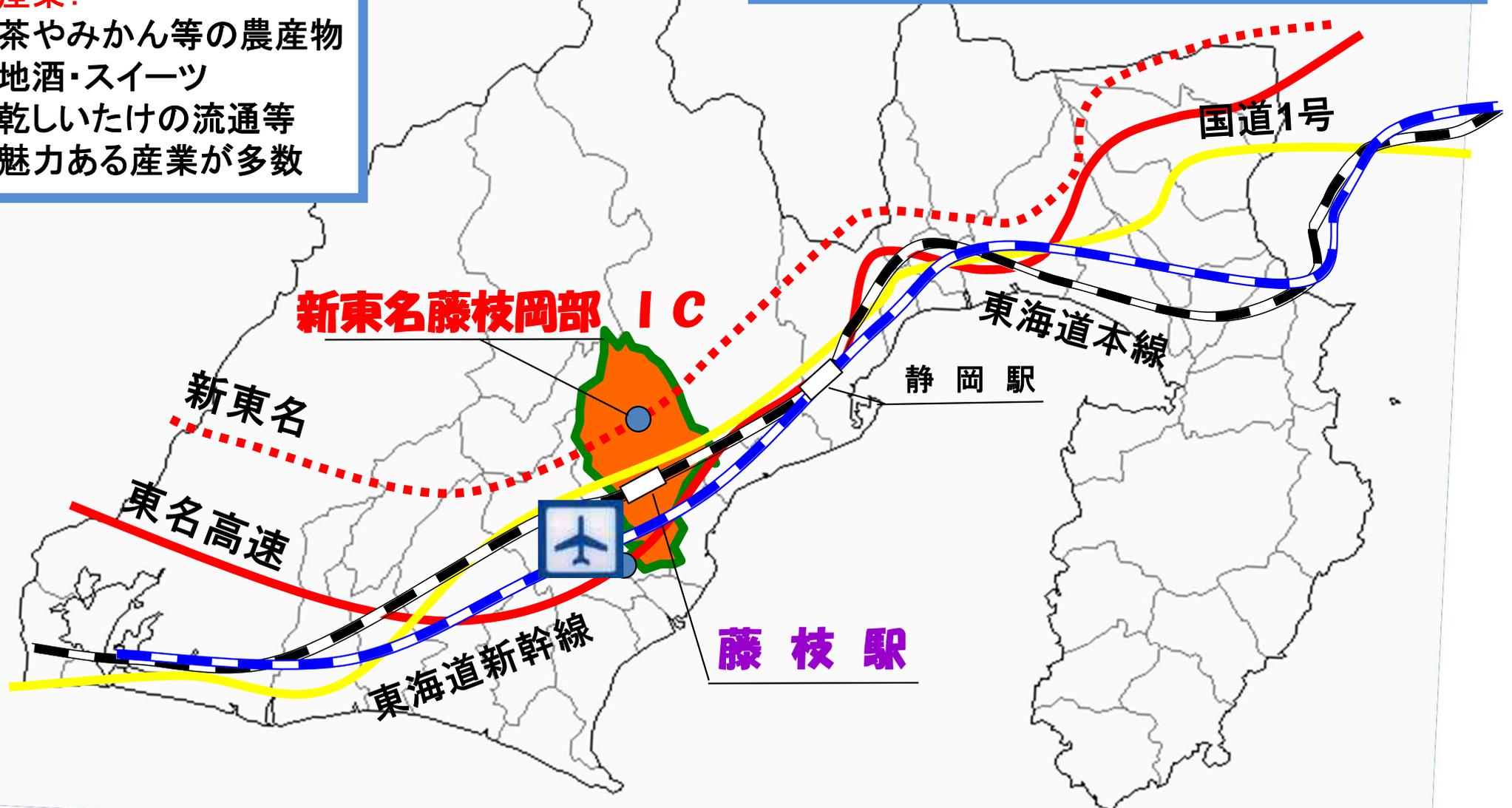
- ・「ほど良く都会 ほど良く田舎」
- ・東海道の宿場町

気候: 比較的温暖

平均気温16.60℃【最高34.4℃ 最低-5.2℃】

産業:

茶やみかん等の農産物
地酒・スイーツ
乾しいたけの流通等
魅力ある産業が多数



A large graphic featuring a soccer player in a white and green uniform, captured in a dynamic kicking pose. The background is a blue sky with the words 'HISTORY', 'PRIDE', and 'DREAM' in large, stylized white letters. The player is wearing a Volkswagen logo on his jersey. A soccer ball is visible at the bottom right.

藤枝の地に新たな風を巻き起こせ

ふじえだから日本に元気を!
長谷川 誠 テレサデーイベント 藤枝市
6.12(土) - PASS THE MESSAGE -
sponsored by VOLKSWAGEN
※会場は別途告知

開催日時
2011年6月12日(土) 13:00~17:00
長谷川 誠 選手

H23年度 藤枝市で開催される
全国規模のサッカー大会・イベント



藤枝市の概況

人口：142,387人

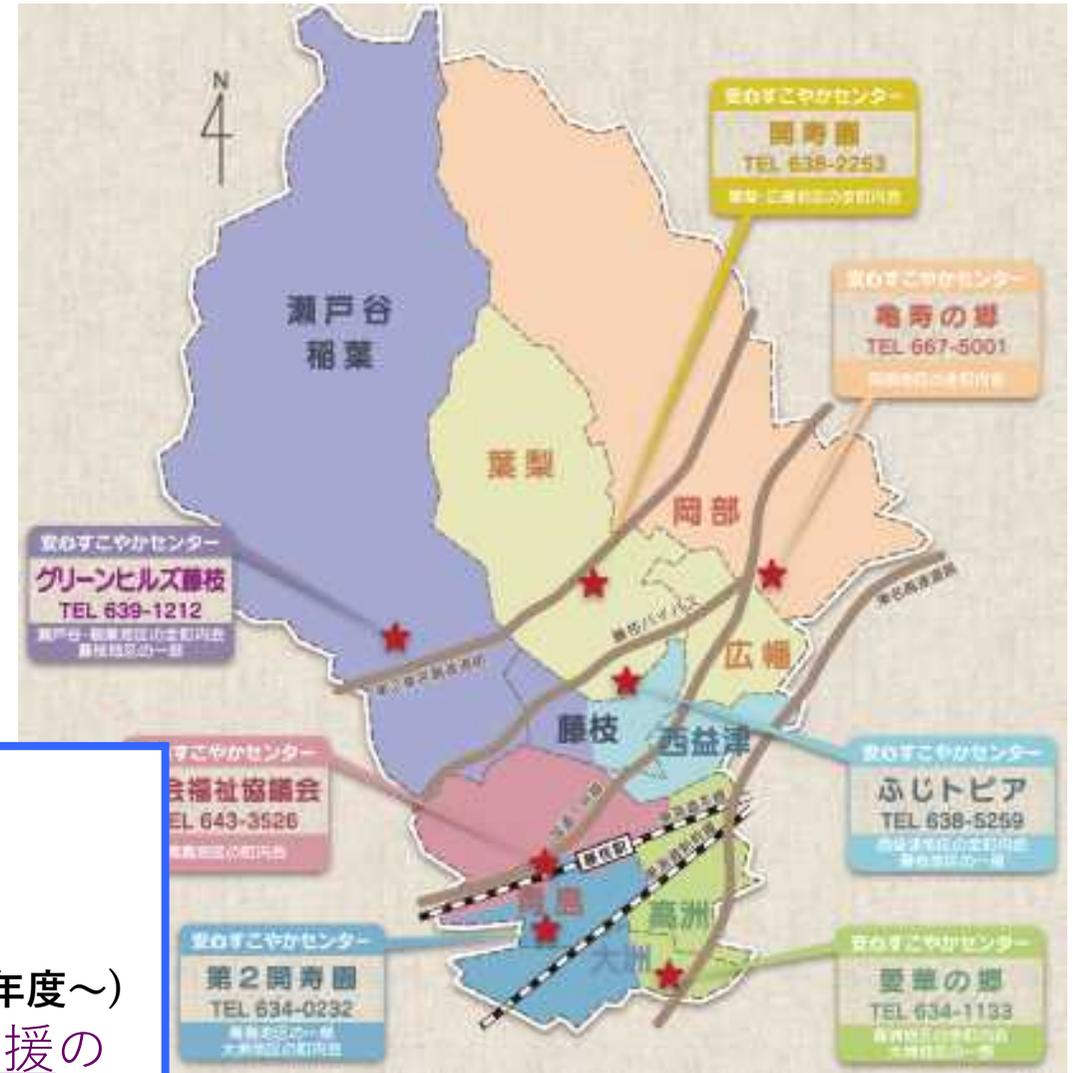
高齢者人口：43,897人

高齢化率：30.8%

(令和5年1月1日現在)

日常生活圏域：9 圏域

地域包括支援センター：7 か所



認知症地域支援推進員 8名

【専任】市地域包括ケア推進課

役割：認知症施策を総合的に推進

【兼任】各地域包括支援センター(令和3年度～)

役割：認知症の人の容態に応じた個別支援の中で、医療・介護・地域の連携によるネットワークづくりの推進

➔ 藤枝市の認知症施策について

➔ これまでのあゆみ

認知症サポーターの活躍からチームオレンジを考える

➔ チームオレンジの活動について
大切にしたいこと

認知症の人とともに築く地域づくり

- ・ 認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる地域づくりの推進。
- ・ 本人の体験や工夫を活かし、認知症の人とともに暮らしやすいまちのあり方を考える。

認知症の人を見守り家族を支える体制づくり

- ・ 認知症の人が安心して外出を続けられる環境作り
- ・ 認知症の人と家族がよりよく暮らし続けられるよう家族の支援

認知症の人が早期に医療や社会資源に繋がる体制の充実

- ・ 認知症の人や家族、多様な職種や立場の人と協議を重ね、連携し、早期に医療や必要な社会資源に繋がり、認知症の人がよりよく暮らし続けられる体制づくりを推進。

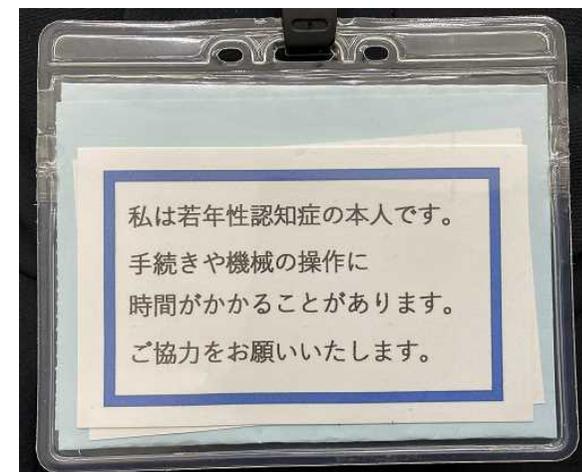
認知症の人を見守り家族を支える体制づくり



- ・ヘルプカードの普及・啓発
- ・認知症の人見守りネットワーク事業(事前登録)
- ・お出かけサポート位置情報サービス
- ・ケアラズカフェ
- ・認知症サポーター養成講座

本人や家族の
ヒアリングを実施！
事業の見直しへ

認知症の人に優しいお店事業所認定制度



本人の経験から生まれたヘルプカードについて、
外出を続けるための備えとして紹介！

 本人がカードを活用して外出することで、
自然な形で理解が進む。

 見守りに関する事業の発想の転換

認知症施策推進会議分科会②
認知症の人が外出や社会参加を続けるた
めに必要なことについて意見交換

認知症の人を見守り家族を支える体制づくり

認知症施策推進会議分科会②

認知症の人が外出や
社会参加を続けるために
必要なことについて意見交換



キーワード

本人の希望を叶える環境作り

ヘルプカードの普及・啓発

認知症の人見守りネットワーク事業 (事前登録)

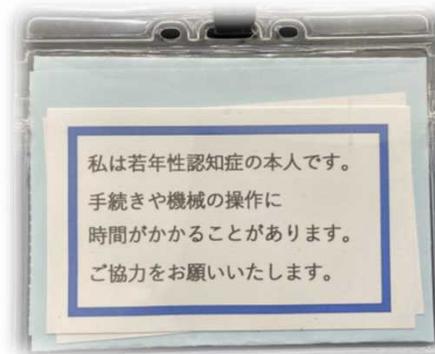
お出かけサポート位置情報サービス

ケアラズカフェ

認知症サポーター養成講座

認知症の人に優しいお店事業所認定制度

本人や家族へ
ヒアリングを実施！
事業の見直しへ



本人の経験から生まれたヘルプカードについて、
外出を続けるための備えとして紹介！

🌸 本人がカードを活用して外出することで、
自然な形で理解が進む。

🌸 **見守りに関する事業の発想の転換に！！**

→“見守る”だけでなく、本人が外出を続けるための
備えやサポートを考える視点

認知症の人に優しいお店・事業所認定（平成26年～）

目的

- ・ 身近なお店や事業者が認知症への理解を深め、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進する。

内容

- ・ 認知症サポーター養成講座を受講したお店や事業を『認知症の人に優しいお店・事業所』として認定し、周知する。



認定要件

- ・ お店や事業所の代表者及び正規職員の半数以上の従業員が認知症サポーター養成講座を受講
- ・ 「藤枝市認知症の人に優しいお店・事業所」としての取り組みを1つ以上実施



認定件数推移

平成25年度	9
平成26年度	18
平成27年度	25
平成28年度	3
平成29年度	1
平成30年度	9
令和元年度	19
令和 2年度	2
令和 3年度	2
令和 4年度	0
令和 5年度	1
合 計	89

業種別認定店

業 種	件 数
金融業	42
小売業	25
薬局	11
その他	11
合 計	89



認定店は増えているが、
それぞれのお店や事業所の取組を
知る機会がなかった。

認知症の人に優しいお店・事業所同士の取組を共有

・認知症の人優しいお店事業所連絡会を開催

認知症の人に優しいお店・事業所の取組報告



【静岡信用金庫 藤枝支店】

何度も通帳を失くしてしまうお客様もあり、その都度丁寧に説明し対応をしている。お客様1人での対応が難しいと感じた場合には、お客様との会話の中で家族がいるか等を確認して対応しており、まずは相手の立場に立って、話を丁寧に聴くことを心がけている。

安心すこやかセンター(以下「あんすこ」と連携することにより、出来ることも増えると感じている。

【島田掛川信用金庫 藤枝南支店】

判断能力はあるが、身体的理由で伝票が書けない方に対し、代筆や代読の制度もあり、臨機応変な対応を心がけている。困っている方がいれば相談をしてほしい。対応力を高めないといけないと感じている。





当初は月報に記載していた。
より報告しやすいように『**事案報告書**』を作成。
配達員の取組を見える化するために始めた。

安心安全サポートネットワーク

「認知症の人に優しいお店」

事案報告書

高齢者見守り声かけサービス

毎月の月例会で報告を行っている。

1) 報告者

2) 報告内容

①日時 2019年6月5日 天気 晴れ
午前・午後 1時30分ごろ

②場所 藤枝市 瀬戸新屋 六ヶ蔵堂近く

③概要 夕刊出勤途中の道路で、自転車に乗っていた高齢の男性が転んで一人で起き上がれない状況だったので助けた。
自宅があと50mほどだとおっしゃって、ケガもなく、また自転車に乗っていったので見届けた。

* どんなに小さな事でも報告にご協力お願いします。

【**藪崎新聞店**】

新聞店は地域があってこそそのものだから、
地域のために何かしたいと考えている。

5年前に認知症サポーター養成講座を受講し、新聞販売店としてできることは何かを考え、“あれ？おかしいな？”と感じたら声をかける、歩行者信号を押さずに待っている人を見かけた場合は手を差し伸べる、外灯が切れていたら替えるのを手伝う等、出来ることを行っている。認知症の人を介護する家族のことを理解できるようになったことも大きな変化だと感じている。



【広幡郵便局】

郵便局は地域の拠点であり続けたい。平成27年から認知症サポーター養成講座を定期的に受講しており、認知症と思われる人や高齢者に対する職員の対応時の意識の変化を感じている。窓口での対応や、配達中の見守りだけでなく、市内の各郵便局に防災士の資格を持つ職員を配置しており、地域の拠点として幅広く活動を展開している。

【はごろも薬局】

季節にそぐわない服を着て、爪も伸びきっていたため、おかしいと感じて地域包括支援センターに情報提供し、支援に繋がったケースがあった。爪の状態は生活環境を表していると感じており、普段から爪の状態を見るようにしている。その他にも身なりや発言、表情などを確認し、色々な面からサポートが必要と感じたときは地域包括支援センターに情報提供をするようにしている。



認知症の人に優しいお店・事業所の 取組から感じたこと



認知症の人に優しいお店だから、
認知症サポーターだからとしてだけではなく、

**自分達の職域の中で
地域の人や地域のためにできることを考え
自分たちの仕事として、役割として
できることに取組んでいる。**



そういった取組が優しいお店や
暮らしやすい地域に繋がっていく。

大切にしていきたいこと



今ある人や資源や繋がりを大切に。
チームオレンジは新しい“仕組み”や“形”をつくることではない。



立場を越えてともに考える。
立場を越えた繋がりづくり。



本人の視点からみた暮らしやすい地域や
支援の在り方を共有しよう！
本人とともに必要な繋がりや仕組みを考える！

認知症の人に優しいお店・事業所連絡会の開催

～立場を越えて繋がる～

チームオレンジの活動について
～大切にしたいこと～



本人が暮らしの中でのバリアについて動画で発信！



・(ヘルプカード)お互いに安心できる。全部お任せしたいと思っていない。・健常者は認知症の人を助けてあげたい、どうしてやればいいのかと思うけれど、普通に接してもらえればいい。

・自分たちは法に詳しいだけでなく、暮らしの豊かさや彩をどう考えていくか、暮らしをサポートする視点を大切にしていきたい。・ゴミ出し困難者が増えてきている。一緒に考えていきたい。(畑作業)楽しい時間を過ごした。一緒に作業したい。

認知症施策推進会議分科会②



認知症の人が外出や社会参加を続けるために必要なことについて
医師・包括・本人・家族・優しいお店・民生委員・病院等立場を
越えて意見交換💡 キーワード💡 **本人の希望を叶える環境作り**

・地域の中で出会い、触れ合うことで、理解に繋がる。・多様な人と地域の中でつながれる場所があると良い。・そのために本人が外出する環境を整えることが大切。・認知症の人に限らず、身体が不自由な人や子ども、妊娠中の人等多様な人にやさしくありたい。

～認知症の人に優しいお店・事業所とも繋がる～
(藤枝市のチームオレンジ)

- ・ 地域の高齢者のゴミ出しについて一緒に考えていきたい。
- ・ 回収した生ごみで堆肥を作り、野菜を作っている。その野菜を再び地域へ！循環させたい。じゃがいもの収穫が大変。



→ 一緒にやります👍 それぞれの力や強みや活かして💡



次は、さつまいも👍

さつまいも



じんそくジンベエが認知症サポーターに認定されました！ 🍠

認知症サポーターとは、特別なことをするのではなく

認知症について理解をし自分のできる範囲でご本人様や家族を温かく見守る人のことです 🤝



その一環として、弊社社長がやっている畑にチームオレンジの方々を招待し、一緒に畑を耕すところから

収穫まで手伝っていただくことになりました！ 🍌

6/16にクイックスイートとシルクスイートというお芋の苗を植えてもらいました 🍠

収穫時期は10月くらいです。

このお芋は焼き芋に最適と言うことでとっても楽しみです 😊👍

最後に社長の焼き芋を、みんなでワイワイしながら

食べたひとときはほんとに楽しくてお芋も更に美味しく感じました！ 💕

また、収穫時期にお会いするのが楽しみです！
9('w')9

#藤枝市# 🍠 #田植え#認知症#認知症サポーター#焼き芋#収穫が楽しみ#10月#堆肥も自家製



jinsoku_jinbe こんにちは😊
じんそくジンベエです👋

9/25にチームオレンジさんと6月に植えたサツマイモ掘りをしました🍠

サツマイモは立派な大きさに成長していて、収穫量も上々でした👍('w')👍🌟
最後に、収穫したおいもを焼き芋にしてみんなで食べましたが、蒸し器を開けた瞬間、あま〜いい匂いが.....😋

お昼食べた後でしたが、お腹がなってしまいました...🍠

焼き芋も上々の出来でした！
また、とれたサツマイモを使った芋羊羹も食べて貰いましたがいかがでしたでしょうか？
満足して頂けたならとっても嬉しいです😊💕

*

今回採れたサツマイモは10/28のマルシェにも出品いたします！

なんと、チームオレンジさんがサツマイモの袋詰めから販売まで手伝ってくださる事になりました🍠🌟

WORK SHOP
HAND MADE
ZAKKA
ACTIVITY

MARCHE
GARAGE DE JINBE
VOL.3

2023.10.28 (土)
AM10:00~PM1:30
藤枝市郷之内1丁目1-10
雨天決行

入場無料

FOOD
DRINK

KITCHEN CAR

じんそくジンベエも出店いたします！
♡ホームズの講座、食品中実販売
♡ジンベエのでもてるソーサー展覧
♡ジンベエのチョコバナナ展覧
♡ジンベエの射的
♡ジンベエのでもてる...

ともに過ごすこと、
地域の中でつながることで、可能性が広がる。
仕組みに捉われず創っていく視点を大切にしていきたい。



“ために”から“ともに”へ ～認知症の人とともに築く地域～

